

BRM主催者規則

2005年11月15日

はじめに

Brevet de Randonneurs Mondiaux (BRM) イベントを主催する許可を求めているクラブ・組織は、主催者達によって選出された(国の)代表を通じて、参加者に BRM の規則を厳密に実施させる義務があるのと同様に、下記に示す主催者規則に従う義務がある。

BRMイベントは日常の行事ではない。BRMイベントの主催者はその責任を真摯に受け止めなければならない。主催者はイベントおよび継続的な参加者に敬意を払わねばならない。ランドヌールの名にふさわしい価値のある、BRMの名声を維持するため、BRMの規則に対する違反を犯した参加者には、その違反の如何、参加者の如何に関わらず処罰することを躊躇してはいけない。

フランス国内、海外において、ブルベイベントの開催や、長距離サイクリングの持続的な発展に貢献しているすべてのボランティアにAudax Club Parisienは謝意を表す。

イベント開催要項

BRMイベントを開催することを望むクラブ、個人、もしくは組織は10月1日までに所屬地域の(各国の)ACP Representativeに翌年のブルベの開催予定を提出しなければならない。今度はACP representativeがそれをACPの海外BRM担当に期日までに転送する。

開催するイベントがBrevets de Randonneurs Mondiauxとして正式に設定されるためには、毎年1月に公表される公式ACP予定表にそのイベントが掲載されていなければならない。当然の帰結として、期日どおりに各地域の予定表が提出されることが絶対必要である。ACPの公式予定表にイベントが掲載されなかった場合、ACP Representativeは掲載されなかったことおよび参加者が認定されないことを該当主催者に通知する。主催者には、地域のACP representativeにイベントの開催を通知することと同様に、中止や日程変更を通知する責任がある。

代表者

すべてのクラブは、BRMイベントに関してACPと連絡を取ることができる公式な代表者を選出しなければならない。(注:ACPと連絡を取るACP Representativeは各国に一人置くことから、この場合の「クラブ」は各国のブルベ主催者で構成される団体を指す。)

保険

Audax Club Parisienは、すべての主催クラブおよびすべての参加者に対し、第三者賠償責任保険にかかっていることを要求する。

ルート

ブルベのルート(キューシート)の2部のコピーがブルベ開催の申請の際に添えられていなければならない。ルートは詳細に記述されなければならない。Audax Club Parisienもしくは地域のACP representative によって既に認可された(例えば、認可されて認証番号をつけられた)ブルベルートがあるクラブは、認可された認証番号を提出すれば良い。受理した後にルートの書類を返却するために、返信用封筒に代表の住所氏名を記入し切手を貼って申請時に同封すること。

ルートの選択は主催者に任されるが、ブルベコースの距離について(の制限)は別として、同一の環状経路を複数回周回するのは許可されない。理想的には、ルートは往復コースで、交通量が少なく、容易に辿れる道路であることが望ましい。道路は夜間走行に適しているかを留意して選ぶこと(道路標識や路面の舗装状態など)。コースは長距離周遊サイクリングであるという精神に従い、また、リタイアを最小にするために、フィニッシュ地点に近い地点をコース途中で通過することを避けるとよい。地形的に特に厳しい箇所を通る場合は、コースが最

初に発表される時に説明されるべきである。ブルベが開催される日程と場所の決定には、可能なら雪や極寒や酷暑など、天候を考慮されるべきである。

キューシートは判りやすく正確で、関連する詳細情報をすべて含むべきである。距離は道路地図、(自動車や自転車の) 走行距離計、計算機の地図ソフトなどから確定しなければならない。イベントの総距離は必ず各ブルベの公式距離より長くなくてはならず、公式距離より数キロ長い程度にすると良い。キューシートにはすべてのチェックポイントとその開閉時刻を含まねばならない。

ひとつのブルベにはただ一つのスタート地点を設定する。しかし、同一地域や範囲の主催者達はスタートが同一日時で同じルートを使う複数のブルベを主催してもよい。この例外規則はそれらクラブがチェックポイントを以下のように調整した場合の場合にのみ許される:あるポイントがスタート地点であるときに、それが他の地点から出発したブルベの中間のチェックポイントである場合。

チェックポイント

チェックポイントはブルベのスタート地点からフィニッシュ地点の間におおよそ等間隔で設定されることが望ましい。チェックポイントの個数は距離に応じて以下のようにするとよい。

200 km のBRM:2~4 箇所
300 km のBRM:3~5 箇所
400 km のBRM:4~6 箇所
600 km のBRM:5~7 箇所
1000 km のBRM:6~10 箇所

その他の追加チェックポイントは、折り返し点やショートカットが出来そうな経路の途中に設置すると良い。また、ACP 海外 BRM 担当や国別の ACP Representative からの要請による、ACP メンバーや ACP Representative が派遣した人員による有人の追加チェックポイントを置くことができる。

スタート地点およびフィニッシュ地点は主催者が任命した一人もしくは複数人の有人チェックポイントであることが望ましい。

可能な限り、これらチェックポイントはオープンからクローズの間中、常に人がいると望ましい。なるべく、チェックポイントは、すべての参加者がブルベカードにチェックを受け、印を受けられる、例えば商店などの既存施設にあることが望ましい。チェックポイントにする施設の住所はブルベカードに記述されることが望ましい。

開閉時刻の計算

A - スタート地点

オープン:スタート時刻は主催者により設定(時刻X)
クローズ:クローズ時刻はスタート時刻(時刻X)の1時間後

B - 中間チェックポイント

オープンおよびクローズ:中間チェックポイントにおけるオープンおよびクローズの時刻は、スタート地点のオープン時刻への最小および最大行程時間の加算によって決定される。行程時間は、スタート地点からチェックポイントへの総距離を、最小および最大速度で除算することにより算出される。最小および最大速度は、総距離に応じて設定されている。

C - フィニッシュ地点

オープン:フィニッシュ地点におけるオープン時刻は、中間チェックポイントと同様に算出されるが、規定距離(200, 300, 400, 600km)が使用される。

クローズ;フィニッシュ地点におけるクローズ時刻は、スタート地点のオープン時刻に対しブルーベの制限時間を加算することによって算出される:制限時間は(時間:分の形式で)

200kmの場合 13:30 300kmの場合 20:00 400kmの場合 27:00
600kmの場合 40:00 1000kmの場合 75:00

D – 計算例

200kmブルーベ				
チェックポイント	日付	開閉時刻		計算
スタート	3月30日	オープン	6:00	(06:00 + 00:00)
		クローズ	7:00	(06:00 + 01:00)
47 km	3月30日	オープン	07:23	(06:00 + 01:23)
		クローズ	09:08	(06:00 + 03:08)
95.5 km (96)	3月30日	オープン	08:49	(06:00 + 02:49)
		クローズ	12:24	(06:00 + 06:24)
148 km	3月30日	オープン	10:21	(06:00 + 04:21)
		クローズ	15:52	(06:00 + 09:52)
フィニッシュ (204 km)	3月30日	オープン	11:53	(06:00 + 05:53)
		クローズ	19:30	(06:00 + 13:30)

600kmブルーベ				
チェックポイント	日付	開閉時刻		計算
スタート	6月7日	オープン	05:00	(05:00 + 00:00)
		クローズ	06:00	(05:00 + 01:00)
92 km	6月7日	オープン	07:42	(05:00 + 02:42)
		クローズ	11:08	(05:00 + 06:08)
199.5 km (200)	6月7日	オープン	10:53	(05:00 + 05:53)
		クローズ	18:20	(05:00 + 13:20)
307 km	6月7-8日	オープン	14:14	(05:00 + 09:14)
		クローズ	01:28	(05:00 + 20:28)
401 km	6月7-8日	オープン	17:10	(05:00 + 12:10)
		クローズ	07:44	(05:00 + 26:44)
497.5 km (498)	6月7-8日	オープン	20:24	(05:00 + 15:24)
		クローズ	14:12	(05:00 + 33:12)
フィニッシュ (603 km)	6月7-8日	オープン	23:48	(05:00 + 18:48)
		クローズ	21:00	(05:00 + 40:00)

200km 地点にコントロールポイントがある場合、閉鎖時刻は(13:30 ではなく)13:20 を加算し、400km 地点にコントロールポイントがある場合は(27:00 ではなく)26:40 を加算する。

ブルーベカード:

主催者は各参加者にブルーベカードを準備する。このカードには(スタート、中間チェックポイント、フィニッシュの)チェックポイントの情報が列挙されている。チェックポイントの情報として、場所、距離と開閉時刻が記述されている。

主催者スケジュール:

前年:

- 各自のBRM開催予定を作成し、国内組織に申請する

1ヶ月以上前:

- 地域での広報(新聞、チラシ、インターネット、等)
- 第三者責任賠償保険、その他国によって必要な保険の準備
- もし必要なら行政機関へ(ブルベの)通知

数週間前:

- ブルベカードの発注。もし可能なら展示用のメダルの入手;メダルの図案や形状はPBPの後に更新され、4年間同一である。

数日間前:

- ブルベカードの準備(ブルベとチェックポイントの情報)
- 事前登録の走者のブルベカード記入(走者とクラブの情報)

スタート前:

- 主催者は各走者にブルベの規則集とキューシートを配布しなければならない。走者はブルベ規則を精読し、受諾せねばならない。
- 走者は、登録用紙へ項目を完全に記入することによって、そのブルベへ登録する。
- 事前参加登録した走者は、既に記入されたブルベカードとルートマップを受け取る。
- 主催者は走者のブルベカードに印をつけ、スタート地点の欄に出発時刻を記入する。

ブルベ開催中:

- 各チェックポイントでは、主催者は走者のブルベカードに印をつけ、チェックポイントへの到着時刻を記入する。
- 主催者のメンバーがいないチェックポイントの場合、(1) はがきでの通知(葉書の受け取りと消印で到達を検査する);(2) 時刻や日付が表示されている商店のレシートや領収書等;(3) 前もって決められていて、見分けが付きやすいランドマークや目印で時刻や日付がわかるもの;以上をもって通過記録とする。主催者は、チェックポイントで採用する方式を事前に通知することができる。

フィニッシュ地点:

- 主催者は各ブルベカードに以下が記入されているか検査せねばならない
 - 各チェックポイントでの印
 - 各チェックポイントでの到着時刻
 - メダル希望・不希望欄への記入
 - 走者の署名
- 主催者はブルベの総走行時間を算出し、ブルベカードの該当欄に記入しなければならない。
- 主催者は、認定ステッカーが到着するまでブルベカードを保管する。

ブルベ後:

- 主催者はイベント終了後10日以内にブルベの結果を要約する。要約はACP representativeが要求する形式で行う。要約には成功裏に完走したすべての走者の名前を列挙する。要約にはさらに各走者の完走時間と、メダルを希望する場合には“X”印をメダル欄に入れる。走者のクラブのACPコードも必要である。ACP representativeはイベント終了後30日までに(その間に開催された)すべてのブルベの結果を要約する。その要約はACPのBRM責任者によって要求された形式で行われる。
- ブルベの結果公表の際には、ランダムもしくは氏名のアルファベット順に列挙されるべきであり、到着時刻や完走時間で列挙すべきではない。各走者のクラブコードもしくは無所属の走者のACPコードは6桁であることに注意されたい。ACPのコードはACPのBRM責任者もしくはACP representativeから通知される。
- 初めてBRMを主催する主催者は、すべての走者のブルベカードを送付しなければならない。この要項は、ACP representativeがその主催者が完全にBRM規則を理解し、実施したかを検査可能にするためである。また、いかなるBRMの主催者も例外なく、ACPの検査のためにブルベカード提出を求められることがある。

- ACP representativeは主催者から提出されたブルベの結果を査読し、ブルベが適切に実施されたかを検査する。検査の後、主催者より提出されたブルベの結果が返却される。そのブルベの結果の最終版には各走者の認定番号が列挙されている。また、同じ番号がついたステッカーも同封される。メダル発注があった場合には、それも送付される。ステッカーは走者のブルベカードの所定の場所に貼ることになっている。最終的なカードと購入されたメダルは、主催者によって各走者に返却される。

英語版からの翻訳(仏語版参照): 下國 治、井手マヤ、齋藤喜康